

株主のみなさまへ

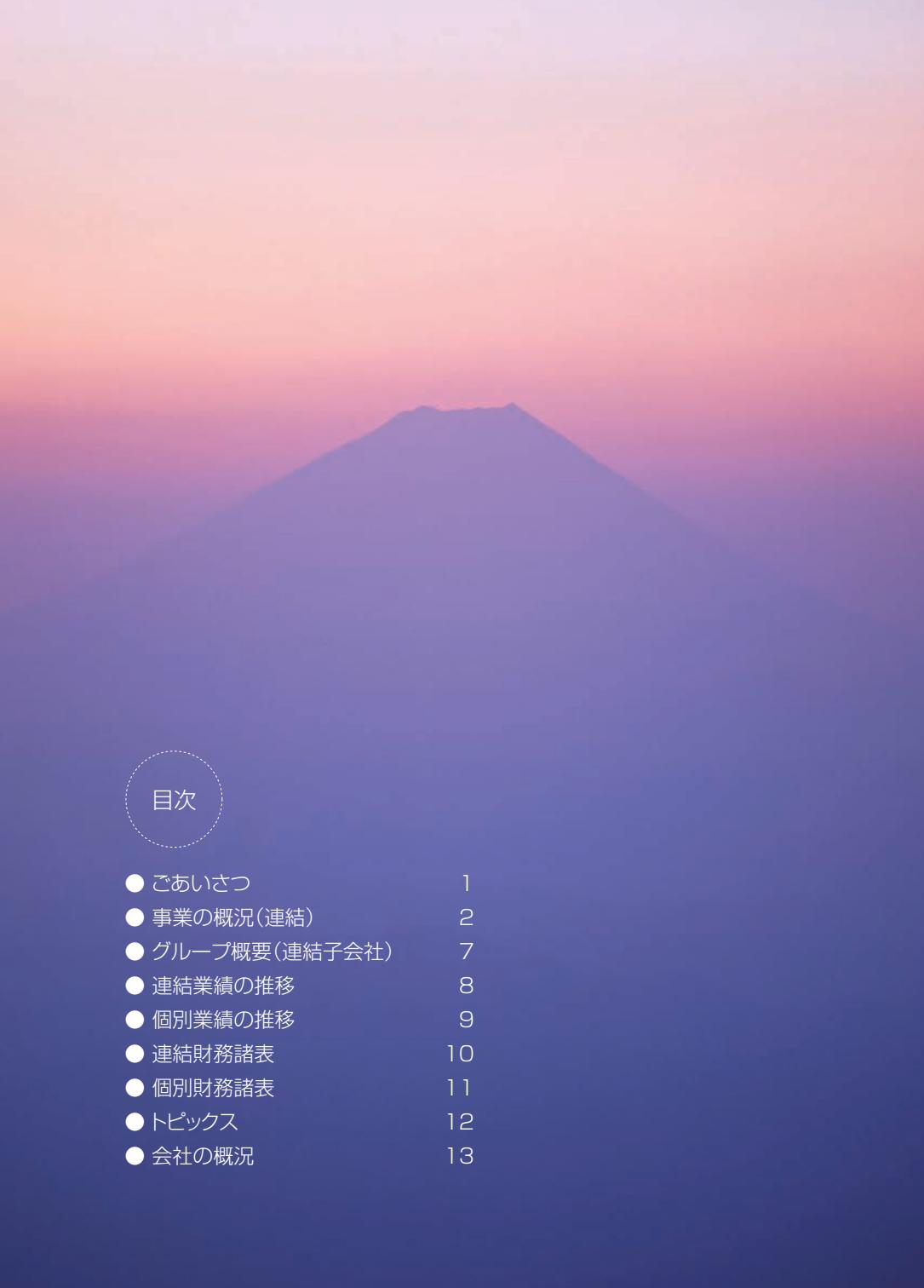
# 第111期 事業報告書

平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで



 静 甲 株 式 会 社

**JASDAQ**  
(証券コード 6286)



## 目次

- ごあいさつ 1
- 事業の概況(連結) 2
- グループ概要(連結子会社) 7
- 連結業績の推移 8
- 個別業績の推移 9
- 連結財務諸表 10
- 個別財務諸表 11
- トピックス 12
- 会社の概況 13

## ごあいさつ

株主の皆さまには平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第111期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、長期化する欧州債務問題及び新興国経済の減速を背景に厳しい状況となりました。年度末には新政権の経済財政政策への期待感から、株価の回復や円高の修正がすすみましたが、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなかで当社グループにおきましては、お客様のニーズの取り込みや販売店との関係強化を図り、安定した受注確保と経営効率の向上に取り組んでまいりました。また、「防災・省エネ・IT」をキーワードに設備投資を実施してまいりました。

各セグメントの業績については、産業機械事業、冷間鍛造事業及び電機機器事業は前年同期の実績を下回りました。一方、車両関係事業においては新型車の販売が好調であったことに加え、平成24年9月に終了したエコカー補助金の効果により前年同期の実績を大きく上回りました。

これらの結果、当社グループの売上高は前年同期比10.2%増の252億6百万円となりました。利益面では、車両関係事業の増収が大きく寄与し、経常利益は前年同期比36.2%増の7億3千6百万円、当期純利益は前年同期比237.0%増の4億4千1百万円となりました。

当期の期末配当金につきましては、1株につき10円として、先に実施いたしました中間配当金と合計した年間の支払配当金は1株につき18円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

取締役社長 鈴木恵子

# 事業の概況(連結)

## 産業機械事業

### 【概況】

製品競争力の強化を目的として新製品の開発に取り組み、また、内覧会を実施するなど、受注獲得に取り組んでまいりました。しかし、主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして、国内景気の先行き不透明感から計画の延期や中止が発生して厳しい市況となりました。これらの結果、改造工事案件の売上は増加しましたが、大型設備の売上は減少し、売上高は前年同期比10.5%減の41億3百万円となりました。

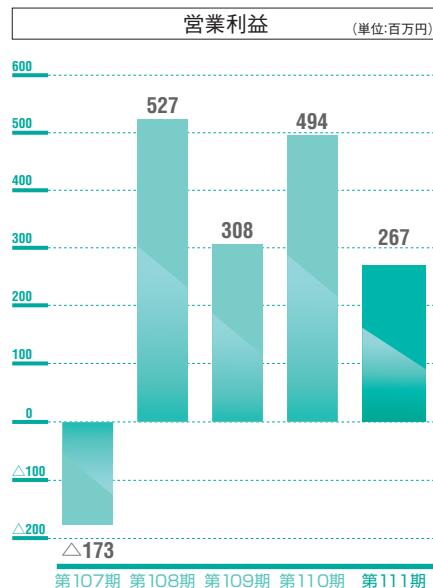
利益面では、開発要素の多い案件を売り上げたことによる原価高及び新製品開発に伴う研究開発費が増加したため、営業利益は前年同期比45.8%減の2億6千7百万円となりました。

### 【対処すべき課題】

産業機械事業では、お客さまのニーズに合った製品づくりのために、変動費管理を柱とした原価管理を進めるとともに、機械の標準化も進めてまいります。また、製品競争力の強化のために新製品の開発と技術開発にも継続的に取り組んでまいります。さらに、設計品質の向上や作業効率の改善を目指し、設計情報のデータベース化を進め、業務の改善にも取り組んでまいります。



ケチャップ充填ライン



## 冷間鍛造事業

### 【概況】

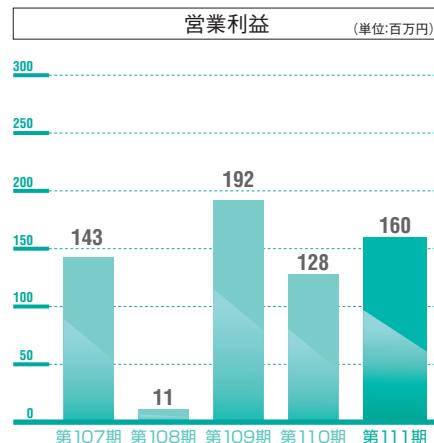
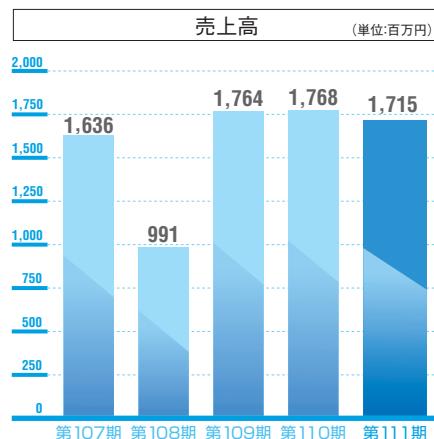
自動車部品は、納入先の北米向け輸出が好調であったことから売上を伸ばしましたが、電動工具部品及び事務機・産業機械部品では受注が減少いたしました。これらの結果、売上高は前年同期比3.0%減の17億1千5百万円となりました。利益面では、変動費管理による原価低減に努めた結果、営業利益は前年同期比24.8%増の1億6千万円となりました。

### 【対処すべき課題】

冷間鍛造事業では、幅広い分野から安定した受注を確保するため、引き続き新規ユーザーの開拓に努めるとともに既存製品の販路拡大にも注力してまいります。また、生産設備の管理項目の見直しと老朽化した生産設備の修繕を実施し、生産効率と付加価値を向上させ、原価低減に取り組んでまいります。さらに、独自技術の開発にも取り組んでまいります。



新規受注の電動工具部品等



# 事業の概況(連結)

## 電機機器事業

### 【概況】

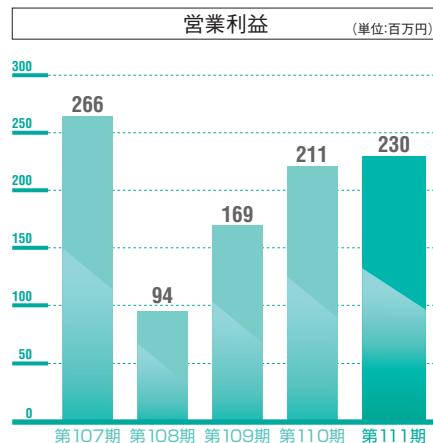
空調・冷熱機器は、市況は厳しいものの、大型設備を売り上げたほか、新規開拓に努めたことにより売上を伸ばしました。しかし、主力のFA関連機器は、半導体や液晶関連装置の機械メーカーなどを中心に需要が低調で厳しい市況となりました。また設備機器においても、前年同期にあったような大型機械設備の売上がなかったため、前年同期の実績を下回りました。これらの結果、売上高は前年同期比4.3%減の40億5千4百万円となりました。営業利益は、空調・冷熱機器において利益率の高い大型設備を売り上げたため前年同期比9.2%増の2億3千万円となりました。

### 【対処すべき課題】

電機機器事業では、新規顧客の開拓を実施するとともに、エンドユーザーへの営業の強化と販売店との関係強化に引き続き取り組んでまいります。また、組織の活性化により営業力、技術力の強化にも取り組んでまいります。主力のFA関連機器では、リニューアルを中心としたシステム受注の拡大に注力してまいります。設備機器では、引き続き既存顧客の需要開拓に取り組むとともに、新規商材の検討にも取り組んでまいります。



取扱商品の三菱電機㈱ FA(ファクトリーオートメーション)用制御機器



## 車両関係事業

### 【概況】

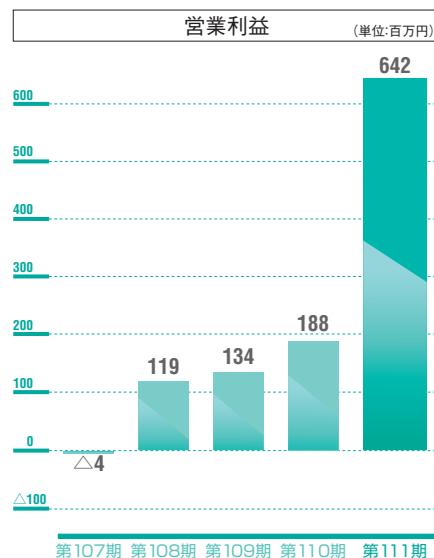
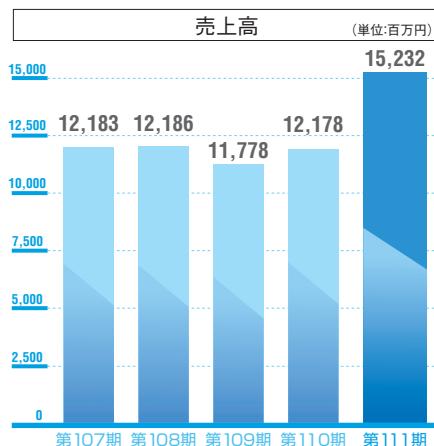
新車販売は、平成23年12月に投入した新型インプレッサ及び平成24年10月に投入した新型フォレスターが好調に推移したことに加え、期前半にはエコカー補助金の効果もあり、単価の大きい登録車の販売台数が大幅に増加いたしました。また、輸入車販売においても新型車の投入により売上を伸ばしました。一方、中古車販売、サービス部品部門はほぼ前年同期並みに推移いたしました。これらの結果、売上高は前年同期を大きく上回り、前年同期比25.1%増の152億3千2百万円、営業利益は増収により前年同期比240.6%増の6億4千2百万円となりました。

### 【対処すべき課題】

車両関係事業では、現在の売上規模に見合った営業体制への転換を図り、固定費削減をはじめとした経営効率の向上を推進するために、引き続き営業拠点の統廃合を進めてまいります。また、店舗の運営体制などの見直しを進め、お客さまが来店しやすい環境を作るとともに営業力、技術力の強化に取り組んでまいります。引き続き、新車販売台数の増加に努めるとともに整備部門などの周辺事業の収益力の強化にも取り組んでまいります。



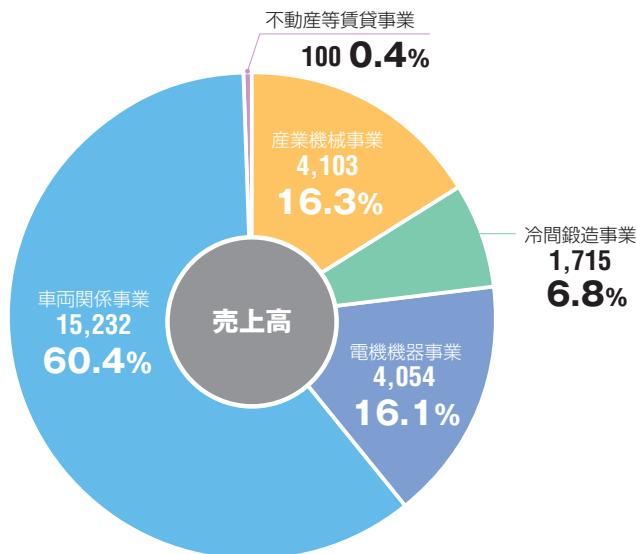
スバル インプレッサ SPORT



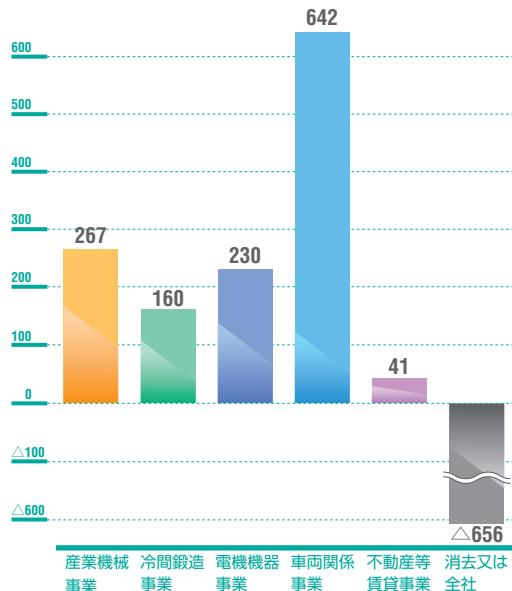
# 事業の概況(連結)

## セグメント別売上高・営業利益

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



(注)「消去又は全社」は、主にセグメント別に配賦することができない当社の管理部門に係わる費用であります。

### ■セグメント別の主要な事業内容

セグメント	主要な事業内容
産業機械事業	包装機械等の製造販売、修理・改造
冷間鍛造事業	冷間鍛造製品の製造販売
電機機器事業	FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事
車両関係事業	車両及びその関連商品の販売
不動産等賃貸事業	駐車場経営及び貸自動車事業等

# グループ概要 (連結子会社)



## ■連結子会社の状況 (平成25年3月31日現在)

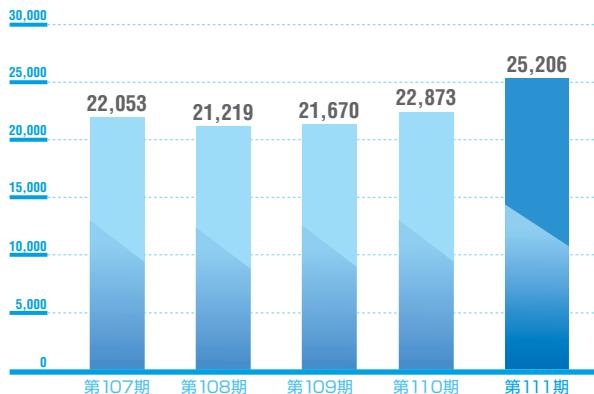
会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
日本機械商事株式会社 (本社:東京都)	150,000 千円	100.00 %	包装機械の販売
静岡スバル自動車株式会社	50,000	100.00	自動車の販売修理
株式会社エコノス・ジャパン	30,000	100.00	殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
静岡自動車株式会社	16,000	100.00	駐車場業・レンタカー業
静岡バイオート株式会社	20,000	100.00	輸入自動車の販売修理

(注) 静岡バイオート株式会社は、静岡スバル自動車株式会社の100%子会社であります。

# 連結業績の推移

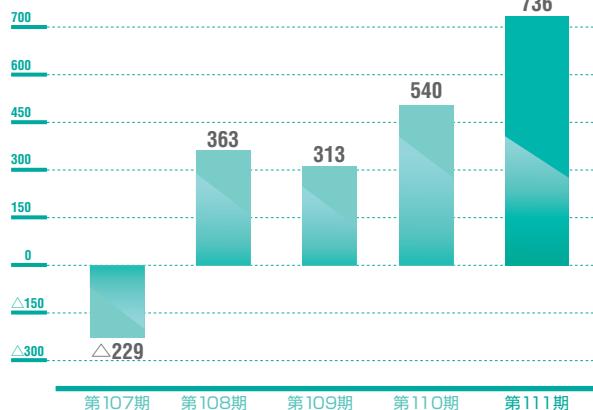
売上高

(単位:百万円)



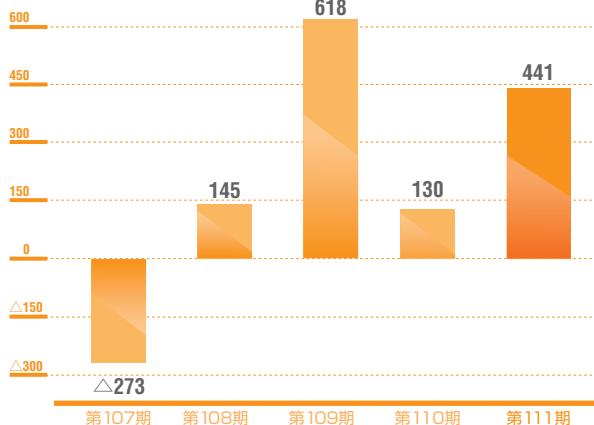
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

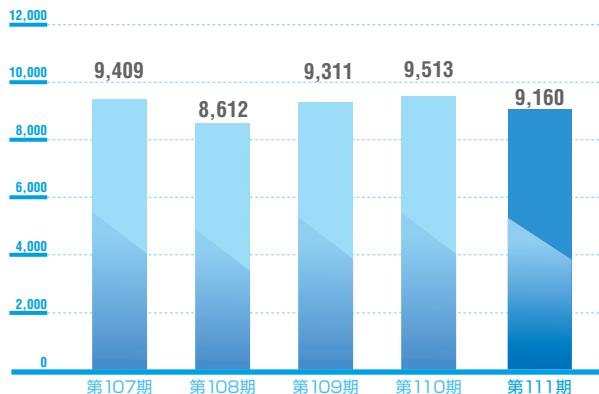
(単位:円)



# 個別業績の推移

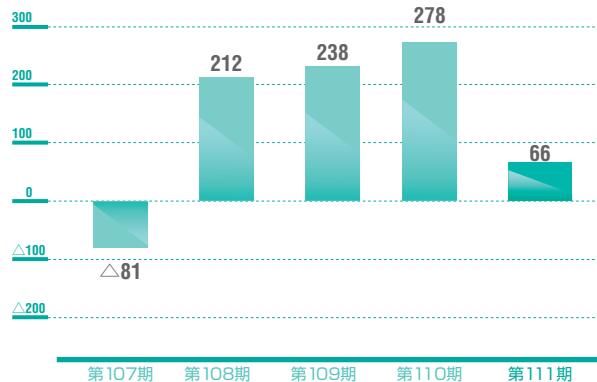
## 売上高

(単位:百万円)



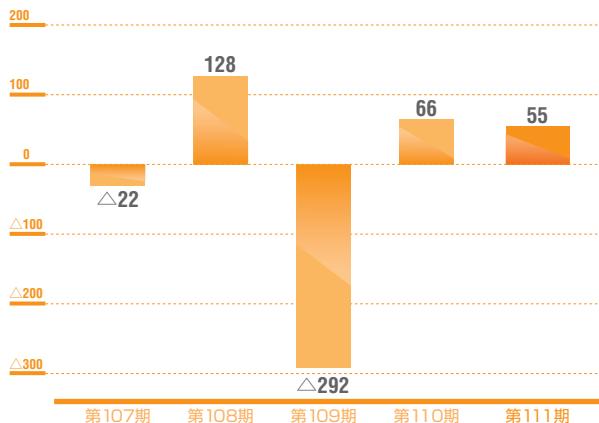
## 経常利益

(単位:百万円)



## 当期純利益

(単位:百万円)



## 1株当たり当期純利益

(単位:円)



# 連結財務諸表

## ■連結貸借対照表(平成25年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
<b>流動資産</b>	<b>9,109,339</b>	<b>流動負債</b>	<b>4,246,235</b>
現金及び預金	3,716,630	支払手形及び買掛金	2,299,564
受取手形及び売掛金	3,506,514	その他	1,946,671
たな卸資産	1,350,456		
その他	538,183	<b>固定負債</b>	<b>1,189,674</b>
貸倒引当金	△2,446	〈負債合計〉	〈5,435,910〉
<b>固定資産</b>	<b>8,651,647</b>	<b>株主資本</b>	<b>11,669,474</b>
(有形固定資産)	(6,326,971)	資本金	1,337,000
建物及び構築物	1,803,949	資本剰余金	1,833,576
土地	3,289,247	利益剰余金	8,499,596
その他	1,233,774	自己株式	△697
(無形固定資産)	(154,598)	その他の包括利益累計額	655,602
(投資その他の資産)	(2,170,077)	その他有価証券評価差額金	655,602
投資有価証券	1,794,948	〈純資産合計〉	〈12,325,077〉
その他	375,275		
貸倒引当金	△146		
<b>資産合計</b>	<b>17,760,987</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>17,760,987</b>

## ■連結損益計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>25,206,763</b>
売上原価	20,150,208
販売費及び一般管理費	4,367,709
<b>営業利益</b>	<b>688,844</b>
営業外収益	89,604
営業外費用	42,378
<b>経常利益</b>	<b>736,070</b>
特別利益	53,727
特別損失	65,353
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>724,444</b>
法人税、住民税及び事業税	280,324
法人税等調整額	2,734
<b>当期純利益</b>	<b>441,385</b>

## ■連結キャッシュ・フロー計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,567,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△967,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額	459,729
現金及び現金同等物の期首残高	3,208,935
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,721
現金及び現金同等物の期末残高	3,684,385

## ■連結株主資本等変動計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成24年4月1日残高	1,337,000	1,833,576	8,161,926	△671	11,331,831	389,929	11,721,761
<b>連結会計年度中の変動額</b>							
剰余金の配当			△103,716		△103,716		△103,716
当期純利益			441,385		441,385		441,385
自己株式の取得				△26	△26		△26
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						265,673	265,673
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>337,669</b>	<b>△26</b>	<b>337,642</b>	<b>265,673</b>	<b>603,316</b>
平成25年3月31日残高	1,337,000	1,833,576	8,499,596	△697	11,669,474	655,602	12,325,077

# 個別財務諸表

## ■貸借対照表(平成25年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
<b>流動資産</b>	<b>5,085,579</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,429,690</b>
現金及び預金	1,845,619	支払手形及び買掛金	772,010
受取手形及び売掛金	2,456,322	その他	657,680
たな卸資産	580,926		
その他	204,679	<b>固定負債</b>	<b>693,358</b>
貸倒引当金	△1,969	〈負債合計〉	〈2,123,049〉
<b>固定資産</b>	<b>6,614,122</b>	<b>株主資本</b>	<b>9,035,869</b>
(有形固定資産)	(2,619,263)	資本金	1,337,000
建物及び構築物	733,824	資本剰余金	1,833,576
土地	1,229,897	利益剰余金	5,865,990
その他	655,541	自己株式	△697
(無形固定資産)	( 138,949)	評価・換算差額等	540,782
(投資その他の資産)	(3,855,909)	その他有価証券評価差額金	540,782
投資有価証券	1,483,329	〈純資産合計〉	〈9,576,652〉
その他	2,372,811		
貸倒引当金	△232		
<b>資産合計</b>	<b>11,699,701</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>11,699,701</b>

## ■損益計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:千円)

科目	金額
<b>売上高</b>	<b>9,160,111</b>
売上原価	7,676,948
販売費及び一般管理費	1,515,534
<b>営業利益</b>	<b>△32,371</b>
営業外収益	130,233
営業外費用	31,365
<b>経常利益</b>	<b>66,496</b>
特別利益	53,421
特別損失	53,723
<b>税引前当期純利益</b>	<b>66,194</b>
法人税、住民税及び事業税	8,947
法人税等調整額	1,476
<b>当期純利益</b>	<b>55,770</b>

## ■株主資本等変動計算書(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・ 換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成24年4月1日残高	1,337,000	1,833,576	5,913,936	△671	9,083,841	342,141	9,425,983
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△103,716		△103,716		△103,716
当期純利益			55,770		55,770		55,770
自己株式の取得				△26	△26		△26
株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額(純額)						198,641	198,641
事業年度中の変動額合計	—	—	△47,945	△26	△47,972	198,641	150,668
平成25年3月31日残高	1,337,000	1,833,576	5,865,990	△697	9,035,869	540,782	9,576,652

※本事業報告書中の記載金額は、表示単位未満を切捨てて表記しております。

## SUBARU XV HYBRID 発売開始

平成25年6月24日にスバル初のハイブリッド車「SUBARU XV HYBRID」が発売となりました。

個性弾けるスタイリング、モーターアシストが生む新感覚の走り、アイサイトの絶大な安心感、そして乗る人のアクティビティを刺激する燃費性能。

シンメトリカルAWDの運動性能を活かした走りの良いスバルのハイブリッドです。

SUBARU XV HYBRIDは、連結子会社である静岡スバル自動車㈱の取扱商品です。



SUBARU XV HYBRID

## 「CELLFiT」シリーズの展示会出展

当社包装機械事業部門で取り扱っている包装機械のうち、汎用小型充填機のシリーズを、このたび、「CELLFiT」シリーズとして商標登録し、さらなる販売強化を行うこととしました。

同シリーズは、多様化するお客さまのニーズに対応するため、多品種少量・小ロット生産に適した機械であります。

また、下記の展示会にも出展し好評を得ております。

- FOOMA JAPAN 2013 国際食品工業展 (東京)  
平成25年6月11日～14日
- プロパックアジア2013 (タイ、バンコク)  
平成25年6月12日～15日

〈FOOMA JAPAN 2013 出展機〉



半自動充填機



半自動巻締機

〈プロパックアジア2013 出展機〉



汎用小型充填キャッパー

# 会社の概況 (平成25年3月31日現在)

●社名	静甲株式会社(SEIKO CORPORATION)		
●設立	昭和14年5月18日		
●資本金	13億3,700万円		
●従業員数	288名		
●株式の状況	発行可能株式総数	19,200,000株	
	発行済株式総数	6,482,229株 (自己株式1,094株を除く)	
	株主数	720名	
	大株主(上位11名)		

## ●役員 (平成25年6月26日現在)

株主名	持株数	持株比率	役職	氏名
鈴木とホールディングス株式会社	1,832,260株	28.27%	代表取締役 取締役社長	鈴木 恵子
鈴木恵子	645,870	9.96	代表取締役 専務取締役	鈴木 武夫
有限会社テイ・エム・ケイ	556,600	8.59	取締役	瀧高 光治
鈴木美代	340,500	5.25	取締役	大石 透
株式会社静岡銀行	321,500	4.96	取締役	鈴木 孝明
株式会社清水銀行	319,290	4.93	取締役	掛下 肇彦
清水食品株式会社	204,000	3.15	取締役	鈴木 浩之
静甲従業員持株会	114,400	1.76	取締役	伏見 民生
鈴木自動車運送株式会社	104,000	1.60	常勤監査役	中村 元保
清水運送株式会社	80,000	1.23	社外監査役	梅田 健司
スルガ銀行株式会社	80,000	1.23	社外監査役	馬杉 秀
			社外監査役	小林 和仁

## 株式事務のご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会…3月31日 期 末 配 当…3月31日 中 間 配 当…9月30日
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] <a href="http://www.seiko-co.com/">http://www.seiko-co.com/</a> ※なお、決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。 [EDINETホームページアドレス] <a href="http://info.edinet-fsa.go.jp/">http://info.edinet-fsa.go.jp/</a> ※貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページIRコーナーでもご覧いただけます。 [当社ホームページアドレス] <a href="http://www.seiko-co.com/">http://www.seiko-co.com/</a> 当社第110回定時株主総会において、公告方法を日本経済新聞への掲載から原則として電子公告に変更することが決議されました。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-7111(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(通話料無料)

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。



<http://www.seiko-co.com>